

科目名	漢字文化論特講	担当者	ゴ 眞 セン 川	期間	通年	単位数	4
-----	---------	-----	-------------------	----	----	-----	---

【科目概要】

目的	漢字は人類が文明の発展段階で叡智を傾けた結晶である。それが成立以来、一貫して表意文字として存在し続け、朝鮮半島、日本、東アジアまで伝わり、漢字文化圏が形成された。漢字には古代人の世界観と価値観をギュッと詰め込んだカプセルのようなものである。本特講では、まず本家である中国で漢字がどのように生まれ、時代ごとにどのように変化発展してきたか、漢字文化が果たしてきた役割とその将来についていま一度考え直す視点を提供する。		
到達目標	漢字の起源や変遷の過程を知り、日本における漢字の伝来と吸収について単に文字の受容という観点のみならず、近代における日中の語彙交流など日本語における漢語の存在という側面からも漢字文化について考察を加える。 さらに、中国や日本の漢字政策、漢字教育の歴史を踏まえながら日本独特な漢字文化の諸相を考察する。		
学修方法	まず書店・図書館などで基本教材を入手し、関連文献を参考にしながら学習する。疑問などが生じた場合、電子メールなどで指導を受ける。ほかに、ゼミなどのグループ研究も利用できる。 在宅学習による研究成果をレポートにまとめ、レポート提出システムで提出する。		
スケジュール	前期と後期にそれぞれ2つの課題が課せられている。前期は9月中旬までに2つのレポート、後期は1月の課題提出締切日までに2つのレポートを提出する。		
成績評価	種別	割合	評価基準
	レポート	80 %	課題レポートを重視する。
	平常評価	20 %	スクリーニング授業やゼミの出席も評価の対象になる
履修者への要望	できれば中国語で書かれた参考書も合わせて利用されるとよい。		

【レポート課題】

基本教材 1	
教材の概要	著者名： 阿辻哲次 教材名： 『漢字文化の源流』（丸善，2009年）ISBN:978-4-62-108205-8 1,800円+税
	漢字の起源や成り立ちから，甲骨文字・青銅器の銘文・秦漢の小篆や隸書，さらには現代日本人にも縁の深い楷書まで，漢字文化の源流を考察するものである。そして，それぞれの文字が使われた時代，中国あるいはその周辺国家に生きた人々の生活や文化にもスポットを当てている。
参考図書	水上静夫『漢字文化の源流を探る』（大修館書店，1997年）ISBN:978-4-46-923139-7 2,700円+税 曹先擢『漢字文化漫筆』（外語教学與研究出版社，2009年）ISBN:978-7-56-008843-3 890円+税 矢野光治『中国漢字文化と日本』（駿河台出版社，2012年）ISBN:978-4-41-102234-9 3,800円+税
履修上のポイント	漢字文化の起源と今日まで発展してきた流れを把握し，それぞれの文字が使われた時代，中国あるいはその周辺国家に生きた人々の生活や文化にも注目してほしい。 特に，東アジアの近代化と漢字文化の関連性について理解を深めてほしい。
レポート課題 1	漢字の起源について論じなさい。 <b>留意点：</b> 隸書の誕生によって象形文字が画一的な筆画によって構成される近代的な漢字に変貌するなど各時代の文字の特徴を中心に考察する。
レポート課題 2	中国の「文字改革」の文化的意義について論じなさい。 <b>留意点：</b> さまざまな議論と文字改革の運動や政府の施策について，漢字の標音化と簡略化を中心に考察する。

基本教材 2	
教材の概要	著者名： 宮本徹 教材名： 『アジアと漢字文化』（放送大学教育振興会，2009年）ISBN:978-4-59-530906-9 3,200円+税
	古代文字の解読を通じて現代日本で使用される楷書へ規範化される長い道筋が記述され，また字体の統一に果たした「秦」「唐」2王朝の役割も描かれている。後半では中国文化圏の周辺諸国への影響や外来語としての消化過程や19世紀以降の国民意識や口語へ同化させようとする試みについても記述されている。
参考図書	中西進ほか『漢字文化を考える』（大修館書店，1991年）ISBN:978-4-46-923077-2 1,748円+税 沈国威『漢字文化圏諸言語の近代語彙の形成』（関西大学出版部，2008年）ISBN:978-4-87-354464-9 4,300円+税 松岡正剛，白川静『漢字の世界観』（平凡社新書，2008年）ISBN:978-4-58-285440-4 780円+税
履修上のポイント	中国における漢字の成立と歴史的展開を軸としつつ，あわせて周縁地域に対する漢字の諸方面における影響を俯瞰することを通じ，アジアにおいて漢字文化が果たしてきた役割とその将来について考え直す視点が必要である。
レポート課題 1	漢字文化圏と日本について論じなさい。 <b>留意点：</b> 近代における日中の語彙交流など日本語における漢語の存在という側面からも考察する。
レポート課題 2	情報化社会における漢字文化が果たす役割について論じなさい。 <b>留意点：</b> 中国や日本の漢字政策，漢字教育の歴史を踏まえながら日本独特な漢字文化の諸相を考察する。